

❖ 新年のごあいさつ ❖

全日本写真連盟 関西本部長
全日本写真連盟大阪府本部長
(朝日新聞大阪本社映像報道部長)

浅野 哲 司



新年あけましておめで
とうございます。全日本写
真連盟は今年設立 95 年目。
大正、昭和、平成、そして
令和も 3 年。写真愛好家団
体がこのような長期にわ

たり、活動できるのはひとえに、皆様のご尽
力のおかげと思います。

関西本部長、大阪府本部長に就かせて頂き
約 3 年になります。昨年今頃、世界を席卷
する新型コロナウイルスの影響を誰が想像し
たでしょうか。「不要不急の外出は避けま
しょう」のフレーズのもと、写真を撮ることは
不要か不急か、皆様もとても悩まれたこと
と思います。私たち新聞社のカメラマンはメ
ディアの責任として、マスクを付け密を避け、
かつて経験したことのない緊急事態宣言の社
会取材しました。

数々の事業を行う大阪府本部にも影響は大
でした。四季の撮影会はバス利用などを考え
て中止、2 年に一度の支部選抜作品展も皆様
にお伺いして中止しました。そのような中で、
ハービー山口さん審査委員長の第 27 回全日
本シニア写真コンテストはコロナ対策をして
実施でき、また山本学さんの風景フォト講座
も座学講評を「通信添削」方式にするなど工
夫して実施して頂きました。

ウイズコロナ社会でどう活動をしていくか。
全国の中でも活発な大阪府本部も大いに悩み
どころですが、模範的な本部としまして、委

員長をはじめ委員の方々が組織を支え、そし
て会員や一般の方が写真を心から楽しめる活
動を、どうぞ今年もよろしくお願い致します。
皆様にとりまして、すばらしい年になります
よう心からお祈り申し上げます。

**● 第 77 回 朝日写真展 作品募集
— 締め切り迫る —**

◇ 締め切り：2021年1月31日(日)
当日消印有効

◇ 応募料：全日写連会員 2,500 円
一般 3,500 円

(ゆうちょ銀行からお振込みください。1 人
5 点まで 点数に関係なく一律)

◇ 応募先：〒530-0005 大阪市北区中之島
2-3-18-15F 全日本写真連盟関西本部
「朝日写真展」係

(詳しくは、チラシ、全日本写真連盟 関西本部
のホームページ等をご覧ください。)

**● 風景フォトコンテスト作品募集
— 締め切り迫る —**

❖ 締め切り 2021年1月29日(金)
当日消印有効

❖ 作 品：A4 か四つ切り (ワイドは不可) の
単写真に限る。 5 点まで

❖ 応募料：両方とも応募点数にかかわらず
会員：1,000 円 一般：2,000 円

❖ 応募先：〒530-0005 大阪市北区中之島
2-3-18 中之島フェスティバルタワー15F
全日本写真連盟大阪府本部

「風景フォトコンテスト」係
(詳しくは、チラシ、全日本写真連盟大阪府本
部のホームページ等をご覧ください。)

全日本 シニア写真コンテスト

審査結果発表

第27回全日本シニア写真コンテストには、北海道から沖縄まで41都道府県から352人（1488点）の応募があり、金賞には静岡市の大石薫さん「休日」が選ばれました。

以下、次の方々が入賞されました。おめでとうございます。

○金賞 「休日」大石 薫（静岡市）

○銀賞 「朝市」羽根和子（桑名市）

「嘆き」窪田保孝（今治市）

「コスモスの丘」今井清博（吹田市）

○銅賞 「ダンクシュート」河田和子（近江八幡市）

「捨てられて」中川元邦（東大阪市）

「海辺」岩鶴敏代（紀の川市）

「気になる売物」左近秋雄（京都市）

「わが子」東 輝（大阪市生野区）

○入選（以下、大阪府本部会員のみ）

天野美智江、今川美佐子（大阪市東住吉区）

／小山千恵子（大阪市港区）／毛利秀明（吹

田市）／中濱正善（茨木市）／田村 進、宮部

荘太郎（枚方市）／金沢昌弘（桜井市）

○総評

（審査委員長のハービー・山口先生（写真家）の総評から、コロナに関する冒頭部分を割愛させていただいて掲載いたしました。）

写真のテーマも世界が暗い中では、自分たちが「元気」「ときめき」「希望」「明るさ」「憧れ」、そうしたものを汲み取った未来につながるような内容であれば、写真の意義、撮る意味、喜びというもまた格別ではないかなと思います。

今回、たくさんのご応募作品を見させていただいて、その一つ一つのメッセージ性というものを読み取ろうとしました。

その中には、愛情たっぷりにご家族を写している世界、そして自分の町の素敵なところを写している作品、また世間に対して批判的な精神から物を目撃したという観察力など、さまざまなテーマがありました。

その中から私たち審査員が「これぞ」と思った内容のものを上位に選びました。

今回審査をされていて気になる作品が少なからず見受けられました。その一つが、余計な加工といえますかシャープネスをいじって、せっかくの作品の清楚さや質素な質感が損なわれているものがありました。

加工は本来なくても良いのですが、作品として目立たせるためなのか、またはわざと面白く表現させようとする事でマイナスになっているものもありました。

それとプリントの仕上げにしても、自分の一番納得のいく印刷まで極めていただくと自己表現が完結するのではないかと考えます。

最後にまた画題です。今回もあまりにも安易に付けている作品が多かったです。「自分はこの写真を通して何が言いたいのだろう」ともう少し反復して、少し言葉で遊んでみたり工夫したりすれば良いのと思いました。また、タイトルで損をしている写真もありました。

これらを留意されて、また良い作品を我々にお寄せいただければと思います。



← 東輝さんの作品「わが子」



↑ 中濱正善さんの作品「カメラマン」

2020年度 大阪写真サロン 審査結果発表

今回のコンテストには93人の方々から377点の応募があり、厳正な審査の結果下記の方々が入賞されました。おめでとうございます。

(以下は関西本部委員中西勝信氏の総評です)

新型コロナ禍の下、会員の皆様には多数のご応募頂き有難う御座いました。

さて、作品ですが上位には良い作品が有りましたが、まだ色調の悪い作品も有り合成と意図的に作った作品も見られました。また、撮ったままだけの作品に終わり、主題をいかす焼き込み、覆い焼きのツールを利用してプリント仕上げをして良い作品を作して下さい。

審査委員 中西勝信(委員長)、広瀬裕子、

脇岡 勇、川岸じろう、水谷八重子

推薦 「炎舞」西村充康(奈良市)

特選 「崩壊」山崎風美(大阪市)

「サンデーパパ」藤本幸男(堺市)

「惜敗」島本靖治(富田林市)

準特選 「街のオアシス」勘田征雄(大阪市)

「お出迎え」徳永俊彦(東大阪市)

「ほほえみ」竹川 龍(神戸市)

「裏通り」山本芳子(高槻市)

「新型コロナ禍の旧堺灯台」湯本正博(堺市)

入選(大阪府本部会員のみ)松本由美子・斉藤貴・中原美佐枝・長谷川純一(以上大阪市)、森山登志子(高槻市)、守實直之・松本千早・小井手久男・古城雅芳(以上豊中市)、中尾順一(枚方市)、重原信彦(寝屋川市)、仲田るり子(大阪狭山市)、榎本治道(交野市)、高田耕次(東大阪市) 嶋田博(堺市)、長原恭子(兵庫県)



↑長谷川純一さんの作品「安らぎの場所」

がんばる会員 ご紹介



いきものフォト支部 支部長の高橋秀夫氏

昨年10月30日で87歳になりました。

元々私は虫が好きで中高時代、夏休みは昆虫採集に明け暮れていました。そして大学ではカメラの設計を学びました。

この両者を結びつけて、退職後の生きがいを昆虫写真にしたのです。2001年に発足した朝日フォト2001支部に加入して、趣味のカメラ人生をスタート。しかし、蝶や虫を撮っても評価してもらえず悩んでいました。

そのような中、2017年5月に大阪府本部主催で「生き物のフォト講座」が開催され、翌年5月に私の夢だった「いきものフォト支部」が誕生しました。この支部には私の3つの夢が詰まっています。

第1はジャンル別支部として立派に定着、発展させることです。

第2は支部員の個性を尊重し、好きな虫を好きなように撮るのを応援します。

第3は男性のみならず女性も活躍する支部にすることです。現在支部員の半数は女性です。支部の企画運営の中心は副支部長の女性です。女性のかわいい美しいものに対する撮影時の辛抱強さを尊敬しています。

先日、かつての勤め先のOB会から米寿の祝いが届きました。私もずいぶん歳をとったものです。でもカメラを持ち、虫を求めて野山を歩き回ると若返ります。私からみれば60代、70代は若者です。若者は先を見据え、視野を広く持って写真を楽しんでください。(高橋)

読者の広場



← 「静」 茨木支部 松田昌三さんの作品（2枚組）
「動」 ↓

「静」 大本山萬福寺に撮影に行きました。中国系の寺院であり、創建当初の姿をそのまま伝える代表的な建築です。静寂の中、寺院には珍しい勾欄の冗くずし文様があり、当



日は快晴で影がクッキリと浮かび上がって奥行きが表現できたと思います。

「動」 本山の若い修行僧が、時を知らせるために緊張しながら木版を打ち、合図を送る。「静」の中の「動」の様子を表現したくて撮影してみました。

全日本写真連盟 大阪府本部事務局

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18
中之島フェスティバルタワー15F
Tel 06-6201-8006 Fax 06-6201-0285
メール…nissyaren@osaka.email.ne.jp

写真展のご案内

◎第37回 枚方写真クラブ展

2月5日（金）～ 2月10日（水）

枚方市民ギャラリー（サンプラザ3号館）

●写真展に関してのお知らせ

個人会員や、支部に所属している会員（全日本写真連盟大阪府本部の会員に限る）が、写真展（個展）を開催する場合、フォトアサヒ、大阪府本部だよりに写真展案内の掲載依頼ができます。これらは年6回刊行の為、掲載依頼申し込みの時期に気をつけてください。例えば、5月あるいは6月に展覧会を開催する為に5・6月合併号に載せたい時、5月の2か月前の15日まで。すなわち3月15日までに所定の申し込み用紙（大阪府本部HPでダウンロード）に書いて大阪府本部まで郵送してください。（宛名シールは発行できかねますのでご了承ください。）

●会員継続手続きのお願い

1月から2021年度会員継続の手続きが開始され、フォトアサヒに「振込票」が同封されています。「氏名、金額、振込先加入者名、口座番号」が印刷されたこの「振込票」で郵便局/銀行/コンビニなどで（コンビニが便利です）継続会費納入のほどお願い申し上げます。なお、「振込票」は再発行されませんので、会費の納入時まで大切に保管されますようお願いいたします。

●会費改定について

新型コロナ関係で昨年度はいろいろな行事が中止になったりして、皆さま方に大変ご迷惑をおかけいたしました。その上、諸事情で先送りされてきた会費が今年度から値上げされることが総本部の理事会で決まりました。

5000円 → 6500円（更新手数料0）

ファミリー会員 3000円のまま（ 〃 ）

25年ぶりの値上げだという事ですが、昨年のフォトアサヒ 11-12月合併号の後半に値上げに至った詳細が掲載されています。何卒よろしくご理解いただきたく、そして全日本写真連盟大阪府本部に今後ともお付き合いくださいますようお願い申し上げます。